



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2020-2021年度 国際ロータリーテーマ 2020-2021年度 RI第2730地区スローガン
「ロータリーは機会の扉を開く」 「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」

ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度 クラブのスローガン 「ロータリアンなんで！」

姉妹クラブ: 台湾 高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクロス RC ドイツ カールシュタット・アルンシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長: 田中 紀充 会長代行: 萩原 隆志 会長ノミネート: 幹事: 吉井 圭介

2020-2021年度 RI会長 ホルガー・クナーク

2020-2021年度 RI第2730地区ガバナー 風呂井 敬(鹿屋西RC)

市内グループガバナー補佐 A: 上川 咲男(鹿児島南RC) B: 野井倉 洋豪(鹿児島東南RC)

母 子 の 健 康 月 間

週報

Vol.63 No.26

令和3年(2021年)

4月7日

【事務所】

〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10

TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119

E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp

【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30

【例会場】サンロイヤルホテル



【第2990回例会】PETS報告 萩原会長エレクト

令和3年3月31日 第2989回例会

小計 14,000円 累計 247,000円

[点鐘] [ロータリーソング] それでこそロータリー

[四つのテスト唱和] 日高(淳)会員

[着席方法] 指定

[お昼の訪問者] 鹿児島 RC2名、鹿児島中央 RC1名
鹿児島城西 RC1名、鹿児島東 RC2名

会務報告

- ①4/18(日) 職場訪問の鹿児島レブナイズ試合観戦は、会員が参加できなくても、お知り合いの方、会社の方など観戦したい方がいらっしゃいましたら、お名前を記入して提出してください。2階席は全席無料となるそうですので、よろしくお祈りします。
- ②鹿児島県コミュニティづくり推進大会のDVDが届きました。
- ③米山記念館から「米山梅吉ものがたり」「超我の人 米山梅吉の登音(あしあと)」「藍壺俳句」の本が出版されます。注文される方は事務局まで。

スマイル報告

- 田中紀充君 本日は今年度初めての夜の懇親会です。桜満開！賀寿の会！世間は、鹿児島でもクラスター発生で危ういですが、感染予防策を遵守して安全な宴会にしましょう！
- 直井圭介君 今年度初めての夜間例会です。十分気をつけながらになります。楽しんでいただけたらと思います。よろしくお祈りします。
- 日高文治君 下之角さん、古希を迎えられおめでとうございます。今後ますますお元気で末永くロータリアンでいてください。
- 川窪宏一君 下之角会員の古希、おめでとうございます。牧田会員の傘寿、おめでとうございます。牧田会員、お会いできないのが残念ですが、ぜひ、次回はお会いしたいです。
- 中村佐知子君 賀寿の宴、おめでとうございます。久しぶりの例会！皆様お元気でしょうか。楽しい時間を過ごしましょう。
- 日高淳一君 40回目の結婚記念日にお花をいただきました。お花が届いた時に、なんと妻は記念日を思い出したありさまです。私は、というところ当然忘れておりました。ありがとうございました。
- 上菌真歩君 今日欠席で申し訳ありません。古希の下之角さん、傘寿の牧田さん、誠にありがとうございます。益々のご健勝をお祈りいたします。

賀寿の宴・観桜会

サンロイヤルホテルのご厚意で、森山直太朗の「さくら」のBGMに合わせて、プロジェクションマッピングで桜の花びらを映し出してくださいました。また、東北地方から届いた桜の生け花も素晴らしいものでした。



開会の会長挨拶

本日で3月も終わり、明日から4月。桜満開です。この宴会場にも奥社長の計らいで桜を咲かせていただいています。この1年、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、今日、初めて夜の例会、懇親会を半ば強行させていただいております。感染予防策のホテルの方針を遵守頂き、安心な宴会となるようご協力の程、お願いいたします。

本日は、賀寿の宴、牧田会員の傘寿、下之角会員の古希のお祝いとなります。これまでのご活躍に敬意を表すとともに、今後のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、2年前に日置市伊集院町で「しろぞの」という老人ホームを開設しました。そこは祖父が生前暮らしていたところで、教師をしていた祖父は、敷地に色々な植物を植えておりました。親族皆が集まる場所でした。孫の私には優しい祖父でした。昭和62年に祖母が他界し、その後、平成18年まで20年、一人で過ごして90歳で亡くなりました。晩年の1年は、施設に入所して、亡くなる日、3月30日のお昼に車いすで近くの公園の桜の花見に出かけ、「みごて桜ね～」と言葉を遺して眠るように車いすに座ったまま亡くなりました。「ねがはくは 桜の下にて 春しなむ そのきさらぎの 望月の頃」西行の詩のごとく人生を閉じました。戦争に翻弄され、結婚して数日で招集、終戦後シベリア抑留、帰国した時に、出征前に授かった母は5歳になって初対面、「誰このおじさんと」言われたそうで